

福生市環境基本計画実行計画

29

(平成 29 年度実行計画)

◆福生市環境基本計画実行計画

| | |
|--------------------------|-----|
| 分野別施策 | P 1 |
| 第 1 節 自然の保全・再生 | P 1 |
| 1 自然の水循環、多摩川の保全・再生 | P 1 |
| 2 都市の自然の保全・再生 | P 2 |
| 第 2 節 潤い豊かな安心できるまちの創造 | P 3 |
| 1 福生らしい景観、資源を活かすまちづくり | P 3 |
| 2 安心して歩ける道・緑のまちづくり | P 5 |
| 第 3 節 暮らし方の変革・地球システムへの適合 | P 6 |
| 1 ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進 | P 6 |
| 2 地球環境問題・公害等への取り組み | P 8 |

| | |
|------------------|------|
| 計画の推進・環境まちづくりの展開 | P 13 |
|------------------|------|

| | |
|------------------|------|
| 第 1 節 環境教育・学習の推進 | P 13 |
|------------------|------|

◆福生市環境基本計画実行計画の策定について

1 目的

この福生市環境基本計画実行計画（以下「実行計画」という。）は、福生市環境基本計画第2期中期実施計画に定める目標及び市の具体的な取り組みを着実に推進するため、実行計画として策定した。

2 実行計画の内容等

- （1）本実行計画は、福生市環境基本計画第2期中期実施計画の基本目標達成のための具体的な取り組み事項及びその内容、計画年度等を明らかにした。
- （2）平成29年度から31年度の計画については、表中に記載する。
- （3）協働事業については★を記載する。
- （4）当該予定年度以降継続して実施、検討、研究をするものは、「継続」とする。
- （5）当該年度予算の[]書きは、福生スクラム・マイナス50%協議会予算である。

3 実行計画の目標期間等

本実行計画は平成29年度から運用し、平成31年度までの3年間とし、毎年度改定する。

4 推進体制

- （1）本実行計画は、福生市環境事業推進会議が進行管理し、進捗状況を福生市環境審議会に報告し、意見を求める。
- （2）本実行計画の進捗状況については、市のホームページにより市民に公表する。

| No | 環境基本計画体系 | | | 頁 | 5年間の施策の方向性 | 事業名 | 担当 | | | 協働事業 | 区分 | 年度計画（実施場所、方法、回数、関係先） | 翌年度計画 | 翌々年度計画 | 当該年度予算（円） | 会計区分 | | | | 管理指標 | | | |
|----|----------|------------------|---------------------|----|---------------|--|--------------|-------|----------|---------|-----|---|-------|--------|-----------|------|--------|--------|----------|---------------------------------|---------------------|---------------------|--|
| | | | | | | | 部 | 課 | 係 | | | | | | | 款 | 項 | 目 | 事業 | 指標 | 基準値 | 目標値 | |
| 1 | 自然の保全・再生 | 自然の水循環、多摩川の保全・再生 | 自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善 | 19 | ①水質汚濁防止 | 下水道への油や界面活性剤、洗車等による汚染物の混入防止のため、市民・事業者への啓発を強化します。雨水枡への汚濁物質流入を防ぎ河川の水質を向上させるため、水の繋がりが意識されるような表示の設置や情報発信について検討します。 | 水質汚濁防止の啓発 | 都市建設部 | 道路下水道課 | 下水道グループ | 継続 | 広報による周知を年2回実施する。 | 継続 | 継続 | 0 | | | | | | | | |
| 2 | 自然の保全・再生 | 自然の水循環、多摩川の保全・再生 | 自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善 | 19 | ②河川維持水量の確保 | 河川維持水量の確保に向け、関係自治体との連携やあらゆる機会を捉えて、継続して関係機関に働きかけます。 | 河川維持水量の確保要請 | 都市建設部 | まちづくり計画課 | 計画グループ | 継続 | 河川維持水量の確保に向けて、17区市で構成する「多摩川整備促進協議会」を通じて年1回国土交通省へ要望を行う。 | 継続 | 継続 | 0 | | | | | 河川維持水量（羽村取水堰放流水） | 4 m ³ /秒 | 4 m ³ /秒 | |
| 3 | 自然の保全・再生 | 自然の水循環、多摩川の保全・再生 | 自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善 | 20 | ③湧水の保護 | 清岩院など拝島段丘の崖線に連なる湧水群及びその周辺環境保護を図る保全に向けて、情報収集を行います。 | 湧水の保護の情報収集 | 都市建設部 | まちづくり計画課 | 計画グループ | 継続 | 拝島段丘の崖線に連なる湧水群及びその周辺環境保護に向けて、多摩川沿岸の8市によって構成される「多摩川由来の崖線の緑を保全する協議会」に年2回参加することにより、保全の取組について情報収集を行う。 | 継続 | 継続 | 0 | | | | | | | | |
| 4 | 自然の保全・再生 | 自然の水循環、多摩川の保全・再生 | 自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善 | 20 | ③湧水の保護 | 市内9か所の湧水について定期的なモニタリングを実施し、湧水地点の保護に繋がる情報を蓄積します。また湧水周辺の環境が適切に維持されるよう、管理者・地権者と連携して対策に取り組めます。 | 湧水地点水質調査 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | ★継続 | 法政大学山崎研究室と協働して、湧水の保全のため、湧水の水質調査を行う。1年間を通して通水地点5箇所と多摩川の水質検査を行う。実施回数は2ヶ月に1度の6回を予定。 | 継続 | 継続 | 0 | | | | | 湧水地点数 | 9か所 | 9か所 | |
| 5 | 自然の保全・再生 | 自然の水循環、多摩川の保全・再生 | 自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善 | 20 | ④地下水のかん養・冠水防止 | 「総合治水」の観点から、一般宅地での雨水浸透ますの設置助成及び宅地開発における雨水浸透施設設置の指導を行います。 | 地下水のかん養・冠水防止 | 都市建設部 | 道路下水道課 | 下水道グループ | 継続 | 一般宅地での雨水浸透ます・浸透施設の設置助成及び、宅地開発における雨水浸透施設設置の指導を実施する。 | 継続 | 継続 | 786,000 | 下水道 | 管渠費 | 下水道整備費 | 雨水管渠整備事業 | | | | |
| 6 | 自然の保全・再生 | 自然の水循環、多摩川の保全・再生 | 自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善 | 20 | ④地下水のかん養・冠水防止 | 東京都環境確保条例に基づき、地下水の揚水量指導に努めます。 | 地下水揚水量報告事務 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | 継続 | 東京都環境確保条例に基づき、地下水揚水量報告書の提出と揚水規制業務、地盤沈下対策のため適正使用指導を行う。 | 継続 | 継続 | 0 | | | | | 河川環境や水循環に関心を持ち、生活の中で配慮している市民の割合 | — | 36.30% | |
| 7 | 自然の保全・再生 | 自然の水循環、多摩川の保全・再生 | 自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善 | 20 | ⑥水循環の学習促進 | 多摩川上流水再生センターの見学等により、下水道や雨水枡と河川の繋がりが、地下水保全等に関する学習機会を提供します。 | 水循環の学習 | 都市建設部 | 道路下水道課 | 下水道グループ | 継続 | 小学生を対象に平成29年8月上旬に下水道施設見学会（多摩川上流水再生センター及び小平市ふれあい下水道館）を実施する。 | 継続 | 継続 | 22,000 | 下水道 | 下水道総務費 | 下水道管理費 | 下水道事務 | | | | |
| 8 | 自然の保全・再生 | 自然の水循環、多摩川の保全・再生 | 多摩川の防災、河川生態系の保全 | 21 | ①水害予防対策 | 用水堰による堆積土砂の除去や護岸などの補修・補強の実施および生態系に配慮した工法の採用について、継続して関係機関に働きかけます。 | 河川防災施設の整備 | 都市建設部 | まちづくり計画課 | 計画グループ | 継続 | 用水堰による堆積土砂の除去や護岸などの補修・補強の実施および生態系に配慮した工法の採用について、17区市で構成する「多摩川整備促進協議会」を通じて年1回国土交通省へ要望を行う。 | 継続 | 継続 | 0 | | | | | | | | |

平成29年度環境基本計画実行計画

| No | 環境基本計画体系 | | | | 頁 | 5年間の施策の方向性 | 事業名 | 担当 | | | 協働事業 | 区分 | 年度計画（実施場所、方法、回数、関係先） | 翌年度計画 | 翌々年度計画 | 当該年度予算（円） | 会計区分 | | | | 管理指標 | | |
|----|----------|------------------|-----------------|-----------------|----|--|-------------------|-------|------------|----------|------|--------|----------------------|-----------|-----------|-----------|-------|--------|-------------------|-----------------|----------|----------|-----|
| | | | | | | | | 部 | 課 | 係 | | | | | | | 款 | 項 | 目 | 事業 | 指標 | 基準値 | 目標値 |
| 9 | 自然の保全・再生 | 自然の水循環、多摩川の保全・再生 | 多摩川の防災、河川生態系の保全 | ②防災意識の高揚 | 21 | 市民の防災意識の高揚に向けて、防災マップ・ハザードマップの普及や広報等による平時の情報提供に努めます。 | 防災意識の高揚 | 総務部 | 安全安心まちづくり課 | 防災係 | | 継続 | 継続 | 2,393,000 | 消防費 | 消防費 | 防災対策費 | 災害対策事業 | | | | | |
| 10 | 自然の保全・再生 | 自然の水循環、多摩川の保全・再生 | 多摩川の防災、河川生態系の保全 | ③川の自然観察等の促進 | 21 | 福生水辺の楽校の学習プログラムや多摩川サポーターズ等の活動を通し、川とその周辺の自然環境、生きものへの親しみ、生物多様性への理解を深めます。イベント等の参加者がより主体的に学習や保全活動などを継続できるよう働きかけます。 | 福生水辺の楽校、多摩川サポーターズ | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | ★ | レベルアップ | 継続 | 継続 | 2,000,000 | 衛生費 | 保健衛生費 | 環境保全費 | 環境教育事業 | 水生生物調査による水質判定階級 | I（きれいな水） | I（きれいな水） | |
| 11 | 自然の保全・再生 | 自然の水循環、多摩川の保全・再生 | 多摩川の防災、河川生態系の保全 | ④河川環境保全活動の推進 | 21 | 市民による河川一斉清掃を行い河川植生の再生などを支援。 | 河川一斉清掃 | 都市建設部 | 施設公園課 | 施設公園グループ | ★ | 継続 | 継続 | 0 | | | | | | | | | |
| 12 | 自然の保全・再生 | 自然の水循環、多摩川の保全・再生 | 多摩川の防災、河川生態系の保全 | ④河川環境保全活動の推進 | 21 | 多摩川に残された生育地において市民、研究者、行政が協力しカワラノギクの絶滅を回避するため、保全・復元作業を行う。 | カワラノギク保全活動 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | ★ | 継続 | 継続 | 0 | | | | | | | | | |
| 13 | 自然の保全・再生 | 自然の水循環、多摩川の保全・再生 | 多摩川の防災、河川生態系の保全 | ⑤多摩川に関する学習拠点の運営 | 21 | 多摩川をフィールドとした環境学習・研究活動や情報発信の拠点として、川の志民館の管理運営を行います。 | 川の志民館管理 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | | 継続 | 継続 | 164,000 | 衛生費 | 保健衛生費 | 環境保全費 | 環境教育事業 | 川の自然観察等への参加者数 | 584人（H26） | 680人 | | |
| 14 | 自然の保全・再生 | 都市の自然の保全・再生 | 4つの自然軸の保全 | ①樹林地等の開発抑制・保全 | 23 | 東京都景観保全条例による規制、福生市宅地開発等指導要綱による指導と合わせ、保存樹林制度の継続、緑地保全地区の指定などにより、樹林地等の保全と開発抑制を図ります。 | 樹林地等の開発抑制・保全 | 都市建設部 | まちづくり計画課 | 計画グループ | | 継続 | 継続 | 0 | | | | | 市域に占める空から見た緑と水の割合 | 28.6%（H25） | 現状維持 | | |
| 15 | 自然の保全・再生 | 都市の自然の保全・再生 | 4つの自然軸の保全 | ①樹林地等の開発抑制・保全 | 23 | 福生市の緑を守り育てる条例に基づき、保存樹林地等の指定、生垣保存協定補助を継続します。また、生垣や保存樹林地の保全活動を所有者以外の市民が支える方策を検討します。 | 保存樹林地指定制度 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | | 継続 | 継続 | 3,500,000 | 衛生費 | 保健衛生費 | 環境保全費 | 緑化推進事業 | 保存樹林地面積 | 6,149㎡（H26） | 現状維持 | | |

平成29年度環境基本計画実行計画

| No | 環境基本計画体系 | | | | 頁 | 5年間の施策の方向性 | 事業名 | 担当 | | | 協働事業 | 区分 | 年度計画（実施場所、方法、回数、関係先） | 翌年度計画 | 翌々年度計画 | 当該年度予算（円） | 会計区分 | | | | 管理指標 | | |
|----|-----------------|---------------------|-----------|----------------------|----|--|----------------|-------|----------|----------|------|----|----------------------|-----------|--------|-----------|-------|--------|----------------------------|----------------------|----------------------|-----|-----|
| | | | | | | | | 部 | 課 | 係 | | | | | | | 款 | 項 | 目 | 事業 | 指標 | 基準値 | 目標値 |
| 16 | 自然の保全・再生 | 都市の自然の保全・再生 | 4つの自然軸の保全 | ①樹林地等の開発抑制・保全 | 23 | 福生市の緑を守り育てる条例に基づき、保存樹林地地区の指定、生垣保存協定補助を継続します。また、生垣や保存樹林地の保全活動を所有者以外の市民が支える方策を検討します。 | 生垣保存協定補助制度 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | | 継続 | 継続 | 90,000 | 衛生費 | 保健衛生費 | 環境保全費 | 緑化推進事業 | 保存生垣延長 | 3,143m (H26) | 現状維持 | | |
| 17 | 自然の保全・再生 | 都市の自然の保全・再生 | 4つの自然軸の保全 | ①街区公園等の維持管理 | 24 | 緑の基本計画に基づき、市街地の身近な公園を適正に維持管理します。また、公園ボランティア等の情報交換を促進し、公園や雑木林における生物多様性の状況の共有、公園の特性に応じた管理方法の検討、活動に対する支援情報の提供など、公園ボランティア制度の充実を図ります。 | 街区公園等の維持管理 | 都市建設部 | 施設公園課 | 施設公園グループ | ★ | 継続 | 継続 | 124,000 | 土木費 | 都市計画費 | 公園費 | 公園管理事務 | 市と市民の協働によって緑と水の質が高められている場所 | 43か所 (H25) | 49か所 (H35) | | |
| 18 | 自然の保全・再生 | 都市の自然の保全・再生 | 4つの自然軸の保全 | ②自然再生事業の展開 | 24 | 都市計画公園や都市緑地などの樹林地や草地などにおける萌芽更新など自然再生の取り組みを推進します。従来の植生に配慮し、その場所に適した手法による保全を進めます。行政、市民ボランティア、委託事業者の役割と作業分担を明確にし、効果的な取組を進めます。 | 自然再生事業の展開 | 都市建設部 | 施設公園課 | 施設公園グループ | ★ | 継続 | 継続 | 124,000 | 土木費 | 都市計画費 | 公園費 | 公園管理事務 | 市域に占める利用できる水と緑の割合 | 10.3% (約106ha) (H25) | 10.9% (約112ha) (H35) | | |
| 19 | 自然の保全・再生 | 都市の自然の保全・再生 | 4つの自然軸の保全 | ③生態系の調査・研究の推進 | 24 | 東京都アライグマ・ハクビシン防除実施計画に基づき、アライグマとハクビシンの捕獲防除を行い、生態系の保全、農業被害の予防を図ります。また、市民と協働した防除活動のあり方について検討を行います。 | 外来生物防除委託 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | ★ | 継続 | 継続 | 792,000 | 衛生費 | 保健衛生費 | 環境保全費 | 環境政策事務 | | | | | |
| 20 | 自然の保全・再生 | 都市の自然の保全・再生 | 4つの自然軸の保全 | ③生態系の調査・研究の推進 | 24 | 地域猫の会の取り組みを拡大し、飼い主のいない猫の適正な飼養管理を推進するとともに、飼い主のモラル向上を働きかけます。 | 地域猫去勢・不妊手術費助成金 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | ★ | 継続 | 継続 | 785,000 | 衛生費 | 保健衛生費 | 環境保全費 | 環境政策事務 | | | | | |
| 21 | 潤い豊かな安心できるまちの創造 | 福生らしい景観、資源を活かすまちづくり | 景観まちづくり | ①自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用 | 25 | まちづくり景観推進連絡会などの推進体制により、自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用を進めます。 | 景観まちづくり事業の推進 | 都市建設部 | まちづくり計画課 | 計画グループ | ★ | 継続 | 継続 | 0 | | | | | 地区計画策定数 | 2件 (H25) | 3件 (H31) | | |
| 22 | 潤い豊かな安心できるまちの創造 | 福生らしい景観、資源を活かすまちづくり | 景観まちづくり | ①自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用 | 25 | 樹木診断や害虫駆除等の適切な管理を実施することにより、多摩川堤防沿いの桜の長寿命化と保全を図ります。 | 多摩川堤防沿桜管理 | 都市建設部 | 施設公園課 | 施設公園グループ | | 継続 | 継続 | 2,129,000 | 土木費 | 都市計画費 | 公園費 | 公園管理事務 | | | | | |

平成29年度環境基本計画実行計画

| No | 環境基本計画体系 | | | | 頁 | 5年間の施策の方向性 | 事業名 | 担当 | | | 協働事業 | 区分 | 年度計画（実施場所、方法、回数、関係先） | 翌年度計画 | 翌々年度計画 | 当該年度予算（円） | 会計区分 | | | | 管理指標 | | |
|----|-----------------|---------------------|-----------------|----------------------|----|---|------------------|-------|----------|---------------|------|----|----------------------|-------|-----------|-----------|-------|---------|---------------|------------------------|-------------|-----------|-----|
| | | | | | | | | 部 | 課 | 係 | | | | | | | 款 | 項 | 目 | 事業 | 指標 | 基準値 | 目標値 |
| 23 | 潤い豊かな心でできるまちの創造 | 福生らしい景観、資源を活かすまちづくり | 景観まちづくり | ①自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用 | 25 | 市民ボランティアガイドによる市内文化財ツアー等の実施により、市民等を対象とした学習機会を提供します。 | 市民ボランティア文化財ガイド事業 | 教育部 | 生涯学習推進課 | 文化財係 | ★ | 継続 | 継続 | 継続 | 20,000 | 教育費 | 社会教育費 | 生涯学習推進費 | 保護展示事業 | | | | |
| 24 | 潤い豊かな心でできるまちの創造 | 福生らしい景観、資源を活かすまちづくり | 景観まちづくり | ②屋外広告物の規制 | 25 | 違反広告物撤去協力員制度を継続し、道路沿線の捨て看板、街中の貼り紙など景観を阻害する違反広告物の撤去を進めます。 | 違反広告物撤去協力員制度 | 都市建設部 | 道路下水道課 | 管理グループ | ★ | 継続 | 継続 | 継続 | 0 | | | | | | | | |
| 25 | 潤い豊かな心でできるまちの創造 | 福生らしい景観、資源を活かすまちづくり | 景観まちづくり | ③清潔で美しいまちの維持 | 26 | 町会・自治会による統一美化キャンペーンを継続するとともに、廃棄物減量等推進員の機能強化や道路美化ボランティア等との連携について検討し、ごみが捨てられにくい環境を維持します。 | 清潔で美しいまちの維持 | 生活環境部 | 環境課 | ごみ対策係 | ★ | 継続 | 継続 | 継続 | 5,259,000 | 衛生費 | 清掃費 | 清掃費 | 清潔で美しいまちづくり事業 | 福生らしい景観の保全に満足している市民の割合 | 43.0% (H26) | 50% (H32) | |
| 26 | 潤い豊かな心でできるまちの創造 | 福生らしい景観、資源を活かすまちづくり | 景観まちづくり | ③清潔で美しいまちの維持 | 26 | 道路美化ボランティア制度などにより、市民と協働した維持管理の拡充を図ります。 | 清潔で美しいまちの維持 | 都市建設部 | 道路下水道課 | 管理グループ | ★ | 継続 | 継続 | 継続 | 0 | | | | | | | | |
| 27 | 潤い豊かな心でできるまちの創造 | 福生らしい景観、資源を活かすまちづくり | 景観まちづくり | ③清潔で美しいまちの維持 | 26 | 住民の福祉及び連帯意識を高め地域活性化につなげるため、町会・自治会が行う各種事業を支援します。 | 地域活性化交付金事業 | 生活環境部 | 協働推進課 | 協働推進・男女平等推進担当 | ★ | 継続 | 継続 | 継続 | 9,000,976 | 総務費 | 総務管理費 | 協働推進費 | 町会等活動支援事務 | | | | |
| 28 | 潤い豊かな心でできるまちの創造 | 福生らしい景観、資源を活かすまちづくり | 玉川上水などを活かすまちづくり | ①玉川上水沿いの遊歩道化 | 27 | 国指定史跡文化財「玉川上水」を市全体の歴史的環境・自然環境保全のシンボルとして捉え、景観推進連絡会及び玉川上水・熊川分水に関わる市民団体と連携して散策コースの検討を進めます。 | 玉川上水沿いの遊歩道化 | 都市建設部 | まちづくり計画課 | 計画グループ | ★ | 継続 | 継続 | 継続 | 0 | | | | | | | | |
| 29 | 潤い豊かな心でできるまちの創造 | 福生らしい景観、資源を活かすまちづくり | 玉川上水などを活かすまちづくり | ②散策路のネットワーク化 | 27 | 緑の多い安心して歩ける道、玉川上水や熊川分水をはじめとする歴史的・自然的景観資源と市街地を結ぶことで、福生の自然・歴史に親しみながら市内に賑わいを生み出す散策ルートを検討し、発信します。 | 散策路のネットワーク化 | 都市建設部 | まちづくり計画課 | 計画グループ | ★ | 継続 | 継続 | 継続 | 0 | | | | | | | | |

平成29年度環境基本計画実行計画

| No | 環境基本計画体系 | | | | 頁 | 5年間の施策の方向性 | 事業名 | 担当 | | | 協働事業 | 区分 | 年度計画（実施場所、方法、回数、関係先） | 翌年度計画 | 翌々年度計画 | 当該年度予算（円） | 会計区分 | | | | 管理指標 | | |
|----|------------|---------------------|-----------------|-----------------|----|--|----------------|-------|------------|---------------|------|----|----------------------|-----------|--------|-----------|-------|-----------|-------------------------|---------------------------|---------------------------|-----|-----|
| | | | | | | | | 部 | 課 | 係 | | | | | | | 款 | 項 | 目 | 事業 | 指標 | 基準値 | 目標値 |
| 30 | 潤い豊かなまちの創造 | 福生らしい景観、資源を活かすまちづくり | 玉川上水を活かすまちづくり | ②散策路のネットワーク化 | 27 | 緑の多い安心して歩ける道、玉川上水や熊川分水をはじめとする歴史的・自然的景観資源と市街地を結び、福生の自然・歴史に親しみながら市内に賑わいを生み出す散策ルートを検討し、発信します。 | 散策路のネットワーク化 | 生活環境部 | シティセールス推進課 | まちの魅力創造グループ | | 継続 | 継続 | 462,000 | 商工費 | 商工費 | 商工費 | まちの魅力推進事業 | | | | | |
| 31 | 潤い豊かなまちの創造 | 福生らしい景観、資源を活かすまちづくり | 玉川上水を活かすまちづくり | ③熊川分水を活かすまちづくり | 27 | 熊川分水の保存や水辺の環境整備、安全な歩行空間づくりのモデル的な取り組みを実施し、熊川分水の保全に努めます。 | 熊川分水を活かすまちづくり | 都市建設部 | まちづくり計画課 | 計画グループ | | 継続 | 継続 | 2,698,000 | 土木費 | 都市計画費 | 都市計画費 | 都市景観事業 | 熊川分水の保全予定区間における協定締結数 | 2か所 | 6か所 | | |
| 32 | 潤い豊かなまちの創造 | 福生らしい景観、資源を活かすまちづくり | 玉川上水を活かすまちづくり | ③熊川分水を活かすまちづくり | 27 | 熊川分水の保存や水辺の環境整備、安全な歩行空間づくりのモデル的な取り組みを実施し、熊川分水の保全に努めます。 | 熊川分水を活かすまちづくり | 都市建設部 | まちづくり計画課 | 道路グループ | | 継続 | 継続 | 0 | | | | | | | | | |
| 33 | 潤い豊かなまちの創造 | 安心して歩ける緑のまちづくり | 安心できる道路・都市施設の整備 | ①バリアフリーの推進 | 28 | バリアフリー推進計画に基づき、関係機関等と連携して公共施設、公園、道路、公共交通など、まちのバリアフリーを総合的に進め、誰もが安心して生活し、移動できる都市づくりを目指します。 | バリアフリーの推進 | 福祉保健部 | 社会福祉課 | 庶務・福祉計画担当 | | 継続 | 継続 | 0 | | | | | 公共施設のバリアフリー化率 | 5/16施設(H25) | 8/16施設(H31) | | |
| 34 | 潤い豊かなまちの創造 | 安心して歩ける道・緑のまちづくり | 安心できる道路・都市施設の整備 | ②中心商業地区の安全化・快適化 | 28 | 商工会と連携した経営支援及び創業支援、商店街等で実施されるイベントの支援、商店街を含む回遊型観光の情報発信などを通じて、商店街の振興を図ります。 | 中心商業地区の安全化・快適化 | 生活環境部 | シティセールス推進課 | 産業活性化グループ | ★ | 継続 | 継続 | 1,200,000 | 商工費 | 商工費 | 商工費 | 商工業振興事業 | コミュニティビジネスの新規創業数（累計） | 2件(H26) | 8件(H32) | | |
| 35 | 潤い豊かなまちの創造 | 安心して歩ける道・緑のまちづくり | 安心できる道路・都市施設の整備 | ③生活道路の安全化 | 28 | 地域や警察署と連携し、交通規制、道路構造の改善など様々な工夫により、生活道路の安全化を推進します。 | 生活道路の安全化 | 都市建設部 | 道路下水道課 | 道路グループ・管理グループ | | 継続 | 継続 | 0 | | | | | バリアフリー対応歩道の市道延長狭あい道路路線数 | 6,788m(H25) 279路線(H26) | 8,859m(H31) 274路線(H31) | | |
| 36 | 潤い豊かなまちの創造 | 安心して歩ける道・緑のまちづくり | 安心できる道路・都市施設の整備 | ④耐震化の促進 | 29 | 耐震改修促進計画に基づき、市内の建物の耐震化を進めます。 | 市内の建物の耐震化 | 都市建設部 | まちづくり計画課 | 計画グループ | | 継続 | 継続 | 1,500,000 | 土木費 | 都市計画費 | 都市計画費 | 都市計画事業 | | | | | |
| 37 | 潤い豊かなまちの創造 | 安心して歩ける道・緑のまちづくり | 緑豊かな住環境づくり | ①住宅や事業所などの緑化 | 30 | 緑あふれる市街地形成のため、宅地開発等指導要綱に基づく事業者への指導を行うとともに、地区計画等による地域の緑化を促進します。 | 住宅や事業所などの緑化 | 都市建設部 | まちづくり計画課 | 計画グループ | | 継続 | 継続 | 0 | | | | | 緑視率 | 約3%(H25) | 約8%(H35) | | |

平成29年度環境基本計画実行計画

| No | 環境基本計画体系 | | | 頁 | 5年間の施策の方向性 | 事業名 | 担当 | | | 協働事業 | 区分 | 年度計画（実施場所、方法、回数、関係先） | 翌年度計画 | 翌々年度計画 | 当該年度予算（円） | 会計区分 | | | | 管理指標 | | | |
|----|------------------|-------------------|------------------|----------------|---|---------------|-------|------------|-----------|------|----|----------------------|----------------------------|--------|-----------|-------|-------------|----------------------------------|-------------------------|----------------------------------|-----|-----|--|
| | | | | | | | 部 | 課 | 係 | | | | | | | 款 | 項 | 目 | 事業 | 指標 | 基準値 | 目標値 | |
| 38 | 潤い豊かな心でまちづくりの創造 | 安心して歩ける道・緑のまちづくり | 豊かな居住環境づくり | ②公共施設等の緑化 | 公共施設については可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進します。国や都の公共施設における積極的な緑化を要請します。 | 公共施設等の緑化 | 都市建設部 | まちづくり計画課 | 計画グループ | | 継続 | 継続 | 0 | | | | | | | | | | |
| 39 | 潤い豊かな心でまちづくりの創造 | 安心して歩ける道・緑のまちづくり | 豊かな居住環境づくり | ②公共施設等の緑化 | 公共施設については可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進します。国や都の公共施設における積極的な緑化を要請します。 | 公共施設等の緑化 | 都市建設部 | 施設公園課 | 建築グループ | | 継続 | 継続 | 305,206,000 120,000,000 | | | | | | | | | | |
| 40 | 潤い豊かな心でまちづくりの創造 | 安心して歩ける道・緑のまちづくり | 豊かな居住環境づくり | ②公共施設等の緑化 | 公共施設については可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進します。国や都の公共施設における積極的な緑化を要請します。 | 公共施設等の緑化 | 教育委員会 | 教育総務課 | 学校施設係 | | 継続 | 終了 | 1,063,745 | 消防費 | 消防費 | 防災対策費 | 防災食育センター管理費 | | | | | | |
| 41 | 潤い豊かな心でまちづくりの創造 | 安心して歩ける道・緑のまちづくり | 豊かな居住環境づくり | ③生産緑地の保全・活用 | 農業振興計画に基づき、生産緑地など農地を保全するとともに、営農への意欲向上を図るなど都市農業への支援策を検討します。 | 市民農園整備 | 生活環境部 | シティセールス推進課 | 産業活性化グループ | | 継続 | 継続 | 1,054,000 | 農林水産業費 | 農業費 | 農業費 | 市民農園管理事務 | 市域における農地の減少率 | 年平均3% (H12-22) | 年平均2% (H23-32) | | | |
| 42 | 潤い豊かな心でまちづくりの創造 | 安心して歩ける道・緑のまちづくり | 豊かな居住環境づくり | ④花や緑のあるまちづくり | 花いっぱい運動など市民団体や町会・自治会による取り組みを支援するとともに、花苗の生産委託により市内農家の支援を継続します。 | ふっさ花いっぱい運動委託 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | ★ | 継続 | 継続 | 732,000 [30,000] | 衛生費 | 保健衛生費 | 環境保全費 | 緑化推進事業 | | | | | | |
| 43 | 潤い豊かな心でまちづくりの創造 | 安心して歩ける道・緑のまちづくり | 豊かな居住環境づくり | ④花や緑のあるまちづくり | 花いっぱい運動など市民団体や町会・自治会による取り組みを支援するとともに、花苗の生産委託により市内農家の支援を継続します。 | 花壇管理委託 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | | 継続 | 継続 | 692,000 | 衛生費 | 保健衛生費 | 環境保全費 | 緑化推進事業 | | | | | | |
| 44 | 潤い豊かな心でまちづくりの創造 | 安心して歩ける道・緑のまちづくり | 豊かな居住環境づくり | ④花や緑のあるまちづくり | 花いっぱい運動など市民団体や町会・自治会による取り組みを支援するとともに、花苗の生産委託により市内農家の支援を継続します。 | 草花苗生産委託 | 生活環境部 | シティセールス推進課 | 産業活性化グループ | | 継続 | 継続 | 7,611,000 | 農林水産業費 | 農業費 | 農業費 | 農業振興事業 | | | | | | |
| 45 | 暮らし変革・地球システムへの適合 | ごみの発生抑制・資源化・処理の推進 | ごみの発生抑制・処理負担の適正化 | ①ごみを減らす生活の呼びかけ | ごみ問題や取り組み成果の情報を分かりやすく発信するとともに、ごみの発生抑制につながる消費行動や事業活動を呼びかけるため、市民の目に届く手法を工夫します。 | ごみを減らす生活の呼びかけ | 生活環境部 | 環境課 | ごみ対策係 | | 継続 | 継続 | 845,786 | 衛生費 | 清掃費 | 清掃費 | 清掃事務 | ごみ排出量（資源ごみを除く） （1人1日当たりごみ排出量） | 16,277 t (760.9g) | 15,000 t (H31) (728.7g) | | | |
| 46 | 暮らし変革・地球システムへの適合 | ごみの発生抑制・資源化・処理の推進 | ごみの発生抑制・処理負担の適正化 | ②事業系一般廃棄物の減量 | 事業系一般廃棄物処理計画の指導や収集段階での直接指導により、事業者の排出責任に対する理解を深めます。拡大生産者責任に基づく事業者責任の強化・明確化など自治体に配慮した制度の着実な実施を関係機関に要請します。 | 事業系一般廃棄物の減量 | 生活環境部 | 環境課 | ごみ対策係 | | 継続 | 継続 | 0 | | | | | | | | | | |

| No | 環境基本計画体系 | | | | 頁 | 5年間の施策の方向性 | 事業名 | 担当 | | | 協働事業 | 区分 | 年度計画（実施場所、方法、回数、関係先） | 翌年度計画 | 翌々年度計画 | 当該年度予算（円） | 会計区分 | | | | 管理指標 | | |
|----|------------------|---------------------|--------------------|------------------|----|--|-----------------|-------|------------|-----------|------|--------|---|-------|--------|--------------------|------|-----|-----|--------------|-------|--------|-------------|
| | | | | | | | | 部 | 課 | 係 | | | | | | | 款 | 項 | 目 | 事業 | 指標 | 基準値 | 目標値 |
| 47 | 暮らし変革・地球システムへの適合 | ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進 | ごみの発生抑制・処理負担の適正化 | ③ごみに関する学習機会の提供 | 31 | ごみ問題の理解やごみを出さない暮らし方に関する継続的な学習を推進するため、副読本を作成し小学校での活用を推進します。 | ごみに関する学習機会の提供 | 生活環境部 | 環境課 | ごみ対策係 | | 継続 | 小学生を対象とした環境教育の推進。小学校4年生の社会科学習に活用するため「ごみのゆくえ」を作成する。 | 継続 | 継続 | 97,200 | 衛生費 | 清掃費 | 清掃費 | ごみ減量対策事業 | | | |
| 48 | 暮らし変革・地球システムへの適合 | ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進 | 資源化・適正処理のためのシステム構築 | ①分別による資源化 | 32 | ごみの適切な資源化・処理が行われるように、排出時点での混入を防止するため分別・収集区分を明確化します。新たな資源化品目の追加について検討します。 | 分別による資源化 | 生活環境部 | 環境課 | ごみ対策係 | | 継続 | ごみの適切な資源化・処理が行われるようにごみ分別の徹底及び資源化の検討。廃棄物減量監視事業の実施。 | 継続 | 継続 | 99,000 | 衛生費 | 清掃費 | 清掃費 | 収集運搬事業 | 総資源化率 | 37.00% | 42.0% (H31) |
| 49 | 暮らし変革・地球システムへの適合 | ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進 | 資源化・適正処理のためのシステム構築 | ②バイオマス資源化 | 32 | 剪定枝についてはリサイクルセンターにおける回収、資源化の周知に努め、リサイクルシステムの確立を目指します。生ごみについては福生市に適した活用方法について引き続き検討します。 | バイオマス資源化 | 生活環境部 | 環境課 | ごみ対策係 | | 継続 | 生ごみの堆肥化や剪定枝の資源化に向けた収集・資源化等処理方法を研究し、有効利用されるよう努める。環境フェスティバルにおいて、コンポスト等の周知により、生ごみの堆肥化の啓発、生ごみ処理機器購入費補助。 | 継続 | 継続 | 855,000 513,076 | 衛生費 | 清掃費 | 清掃費 | 中間処理ごみ減量対策事業 | | | |
| 50 | 暮らし変革・地球システムへの適合 | ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進 | 資源化・適正処理のためのシステム構築 | ③地域リサイクルシステムの強化 | 32 | 市民・事業者等による地域での再使用の促進や資源リサイクルシステムの強化に努めます。 | 地域リサイクルシステムの強化 | 生活環境部 | 環境課 | ごみ対策係 | | 継続 | 資源回収実施団体報償金制度を継続し、地域リサイクルシステムを強化する。 | 継続 | 継続 | 17,368,000 | 衛生費 | 清掃費 | 清掃費 | ごみ減量対策事業 | | | |
| 51 | 暮らし変革・地球システムへの適合 | ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進 | 資源化・適正処理のためのシステム構築 | ③地域リサイクルシステムの強化 | 32 | 市民・事業者等による地域での再使用の促進や資源リサイクルシステムの強化に努めます。 | フリーマーケット | 生活環境部 | シティセールス推進課 | 産業活性化グループ | ★ | 継続 | 市民団体等が実施するフリーマーケットの開催について広報・HPによる周知支援を行う。 | 継続 | 継続 | | | | | | | | |
| 52 | 暮らし変革・地球システムへの適合 | ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進 | 資源化・適正処理のためのシステム構築 | ④適正な中間処理、最終処分の推進 | 32 | エコセメント化など、最終処分場の延命化を進めるとともに、有害ごみ等の処分の適正さを確保する監査に努めます。また、焼却処分を行っていたし尿処理について、今後堆肥化を検討していきます。 | 適正な中間処理・最終処分の推進 | 生活環境部 | 環境課 | ごみ対策係 | | レベルアップ | 埋め立てごみを減らすためにリサイクルセンターでの選別の徹底及び不燃廃棄物の資源化の実施。また、し尿処理の堆肥化の検討。 | 継続 | 継続 | 1,426,000 | 衛生費 | 清掃費 | 清掃費 | 中間処理事業 | | | |

| No | 環境基本計画体系 | | | | 頁 | 5年間の施策の方向性 | 事業名 | 担当 | | | 協働事業 | 区分 | 年度計画（実施場所、方法、回数、関係先） | 翌年度計画 | 翌々年度計画 | 当該年度予算（円） | 会計区分 | | | | 管理指標 | | |
|----|--------------------|------------------|---------------|--------------------------|----|---|----------------------|-------|-----|-----|------|----|----------------------|-----------|--------|-----------|-------|--------|---|----|--------------------------------|----------------------|-----------------|
| | | | | | | | | 部 | 課 | 係 | | | | | | | 款 | 項 | 目 | 事業 | 指標 | 基準値 | 目標値 |
| 53 | 暮らし方の変革・地球システムへの適合 | 地球環境問題・公害等への取り組み | 地球温暖化対策への取り組み | ①地球温暖化対策の枠組みの明確化 | 33 | 地域の温室効果ガス排出量は、オール東京62市区町村共同事業が公表する最新の推計データを利用し進捗管理を行います。また、市有施設の温室効果ガス排出量は、市地球温暖化対策実行計画に基づき、進捗管理を行います。エネルギー需給構造やエネルギー制度改革などの大きな社会情勢の変化や市の重点政策（定住化促進、再開発等）の成果を踏まえて、市のエネルギー政策の長期的方向性について情報収集を行います。 | 地球温暖化対策の枠組みの明確化 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | | 継続 | 継続 | 0 | | | | | | | 市民一人当たりのCO2排出量（横浜基地分を除く民生家庭部門） | 1,189kg-CO2(H24) | 784kg-CO2 |
| 54 | 暮らし方の変革・地球システムへの適合 | 地球環境問題・公害等への取り組み | 地球温暖化対策への取り組み | ①地球温暖化対策の枠組みの明確化 | 33 | 地域の温室効果ガス排出量は、オール東京62市区町村共同事業が公表する最新の推計データを利用し進捗管理を行います。また、市有施設の温室効果ガス排出量は、市地球温暖化対策実行計画に基づき、進捗管理を行います。エネルギー需給構造やエネルギー制度改革などの大きな社会情勢の変化や市の重点政策（定住化促進、再開発等）の成果を踏まえて、市のエネルギー政策の長期的方向性について情報収集を行います。 | 福生市環境マネジメントシステム（F-e） | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | ★ | 継続 | 継続 | 800,000 | 衛生費 | 保健衛生費 | 環境保全費 | 環境政策事務 | | | 市有施設の温室効果ガス排出量（市地球温暖化対策実行計画） | 3,967.567kg-CO2(H26) | 4,190.723kg-CO2 |
| 55 | 暮らし方の変革・地球システムへの適合 | 地球環境問題・公害等への取り組み | 地球温暖化対策への取り組み | ②省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換 | 33 | 地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化を推進します。福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針の徹底を図り、公共施設の新改築、大規模改修、設備更新時における省エネルギー（雨水利用を含む）、再生可能エネルギーへの転換を進め、実施状況の把握を行います。市民、事業者における省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換を支援するため、継続的な情報提供やみどりのカーテンコンテスト等のキャンペーン展開に努めます。 | みどりのカーテン大作戦 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | ★ | 継続 | 継続 | [140,000] | | | | | | | | | |

| No | 環境基本計画体系 | | | | 頁 | 5年間の施策の方向性 | 事業名 | 担当 | | | 協働事業 | 区分 | 年度計画（実施場所、方法、回数、関係先） | 翌年度計画 | 翌々年度計画 | 当該年度予算（円） | 会計区分 | | | | 管理指標 | | |
|----|--|--|-----------------------------------|--|----|---|---|-----------|-----------|---------|------|----|----------------------|-------------|--------|-----------|-----------|--|---|----|------|-----|-----|
| | | | | | | | | 部 | 課 | 係 | | | | | | | 款 | 項 | 目 | 事業 | 指標 | 基準値 | 目標値 |
| 56 | 暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合 | 地球環 境問 題・公 害等 への 取り 組み | 地球温 暖化 対策 への 取り 組み | ②省エ ネル ギー の 促進 、ク リー ンエ ネル ギー への 転換 | 33 | 地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化を推進します。福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針の徹底を図り、公共施設の新改築、大規模改修、設備更新時における省エネルギー（雨水利用を含む）、再生可能エネルギーへの転換を進め、実施状況の把握を行います。市民、事業者における省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換を支援するため、継続的な情報提供やみどりのカーテンコンテスト等のキャンペーン展開に努めます。 | 福生ま ちな か涼 み 処、 福生 ま ちな か 温 み 処 | 生活環 境部 | 環境課 | 環境 係 | | 継続 | 継続 | 0 | | | | | | | | | |
| 57 | 暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合 | 地球環 境問 題・公 害等 への 取り 組み | 地球温 暖化 対策 への 取り 組み | ②省エ ネル ギー の 促進 、ク リー ンエ ネル ギー への 転換 | 33 | 地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化を推進します。福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針の徹底を図り、公共施設の新改築、大規模改修、設備更新時における省エネルギー（雨水利用を含む）、再生可能エネルギーへの転換を進め、実施状況の把握を行います。市民、事業者における省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換を支援するため、継続的な情報提供やみどりのカーテンコンテスト等のキャンペーン展開に努めます。 | 家庭の省 エネ ル ギー 情 報 発 信 | 生活環 境部 | 環境課 | 環境 係 | ★ | 継続 | 継続 | [17,200] | | | | | | | | | |
| 58 | 暮らし 方の変 革・地 球シ ステム への 適合 | 地球環 境問 題・公 害等 への 取り 組み | 地球温 暖化 対策 への 取り 組み | ②省エ ネル ギー の 促進 、ク リー ンエ ネル ギー への 転換 | 33 | 地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化を推進します。福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針の徹底を図り、公共施設の新改築、大規模改修、設備更新時における省エネルギー（雨水利用を含む）、再生可能エネルギーへの転換を進め、実施状況の把握を行います。市民、事業者における省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換を支援するため、継続的な情報提供やみどりのカーテンコンテスト等のキャンペーン展開に努めます。 | 省エネ ル ギー の 促 進 、ク リー ン エ ネ ル ギー への 転換 | 総務部 | 契約管 財課 | 管財 係 | | 継続 | 継続 | 336,962,000 | 総務費 | 総務管 理費 | 一般管 理費 | もく せい 会 館 建 設 事 業 | | | | | |

| No | 環境基本計画体系 | | | | 頁 | 5年間の施策の方向性 | 事業名 | 担当 | | | 協働事業 | 区分 | 年度計画（実施場所、方法、回数、関係先） | 翌年度計画 | 翌々年度計画 | 当該年度予算（円） | 会計区分 | | | | 管理指標 | | |
|----|--------------------|------------------|---------------|--------------------------|----|---|-------------------------|-------|-------|--------|------|----|--|-------|--|------------|------|------|-------|---------------------|------|-----|-----|
| | | | | | | | | 部 | 課 | 係 | | | | | | | 款 | 項 | 目 | 事業 | 指標 | 基準値 | 目標値 |
| 59 | 暮らし方の変革・地球システムへの適合 | 地球環境問題・公害等への取り組み | 地球温暖化対策への取り組み | ②省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換 | 33 | 地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化を推進します。福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針の徹底を図り、公共施設の新改築、大規模改修、設備更新時における省エネルギー（雨水利用を含む）、再生可能エネルギーへの転換を進め、実施状況の把握を行います。市民、事業者における省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換を支援するため、継続的な情報提供やみどりのカーテンコンテスト等のキャンペーン展開に努めます。 | 省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換 | 都市建設部 | 施設公園課 | 建築グループ | | 継続 | | 継続 | 305,206,000 45,970,000 120,000,000 80,753,000 | | | | | | | | |
| 60 | 暮らし方の変革・地球システムへの適合 | 地球環境問題・公害等への取り組み | 地球温暖化対策への取り組み | ②省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換 | 33 | 地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化を推進します。福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針の徹底を図り、公共施設の新改築、大規模改修、設備更新時における省エネルギー（雨水利用を含む）、再生可能エネルギーへの転換を進め、実施状況の把握を行います。市民、事業者における省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換を支援するため、継続的な情報提供やみどりのカーテンコンテスト等のキャンペーン展開に努めます。 | 省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換 | 教育委員会 | 教育総務課 | 学校施設係 | | 継続 | 平成27年度から継続して実施されてきた体育館非構造部材落下防止対策事業において、体育館照明のLED化の実施。平成29年度は、第二小学校で実施予定9校目。 | 継続 | 終了 | 84,097,000 | 教育費 | 小学校費 | 学校施設費 | 小学校体育館非構造部材落下防止対策事業 | | | |
| 61 | 暮らし方の変革・地球システムへの適合 | 地球環境問題・公害等への取り組み | 地球温暖化対策への取り組み | ②省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換 | 33 | 地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化を推進します。福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針の徹底を図り、公共施設の新改築、大規模改修、設備更新時における省エネルギー（雨水利用を含む）、再生可能エネルギーへの転換を進め、実施状況の把握を行います。市民、事業者における省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換を支援するため、継続的な情報提供やみどりのカーテンコンテスト等のキャンペーン展開に努めます。 | 省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換 | 教育委員会 | 教育総務課 | 学校施設係 | | 新規 | 平成30年度から小中学校空調機の更新事業を計画、省エネ化等を図る予定。平成29年度は第三、第五小学校の工事設計を行う。 | 継続 | 継続 | 24,049,000 | 教育費 | 小学校費 | 学校施設費 | 小学校防音機能復旧（復機）事業 | | | |

| No | 環境基本計画体系 | | | 頁 | 5年間の施策の方向性 | 事業名 | 担当 | | | 協働事業 | 区分 | 年度計画（実施場所、方法、回数、関係先） | 翌年度計画 | 翌々年度計画 | 当該年度予算（円） | 会計区分 | | | | 管理指標 | | |
|----|---|--|-----------------------------------|----------------------------|------------|--|--|-----------|----------------------|----------------|----|----------------------|-------|--------|------------|------|-----------|-----------------|---------------------------|------|-----|-----|
| | | | | | | | 部 | 課 | 係 | | | | | | | 款 | 項 | 目 | 事業 | 指標 | 基準値 | 目標値 |
| 62 | 暮らし 方の変 革・地 球シ テム への 適合 | 地球環 境問 題・公 害等 への 取り 組み | 地球温 暖化 対策 への 取り 組み | ③省エ ネカ ーの 普 及 | 34 | 自動車交通による大気汚染物質、温室効果ガスの排出を低減するため、公用車における省エネカー導入を積極的に進めます。 | 省エ ネカ ーの 普 及 | 総務部 | 契約管 財課 | 管財 係 | | 継続 | | | 1,432,000 | 総務費 | 総務管 理費 | 一般管 理費 | 車両管 理事 務 | | | |
| 63 | 暮らし 方の変 革・地 球シ テム への 適合 | 地球環 境問 題・公 害等 への 取り 組み | 地球温 暖化 対策 への 取り 組み | ③省エ ネカ ーの 普 及 | 34 | 電気自動車の普及促進のため、電気自動車用急速充電器利用サービスを周知し、利用者の拡大を図ります。 | 電 気自 動 車 用 急 速 充 電 器 保 守 委 託 | 生活環 境部 | 環境課 | 環境 係 | | 継続 | | | 270,000 | 衛生費 | 保健衛 生費 | 環境保 全費 | 環境政 策事 務 | | | |
| 64 | 暮らし 方の変 革・地 球シ テム への 適合 | 地球環 境問 題・公 害等 への 取り 組み | 地球温 暖化 対策 への 取り 組み | ④自 転車 のま ちづ くり | 34 | 自動車依存から自転車使用の促進を目指し、自転車のまちづくりに取り組みます。 | 自 転車 の ま ちづ くり | 都市建 設部 | まちづ くり計 画課 | 計画 グル ープ | | 継続 | | | 0 | | | | | | | |
| 65 | 暮らし 方の変 革・地 球シ テム への 適合 | 地球環 境問 題・公 害等 への 取り 組み | 地球温 暖化 対策 への 取り 組み | ④自 転車 のま ちづ くり | 34 | 自動車依存から自転車使用の促進を目指し、自転車のまちづくりに取り組みます。 | 自 転車 の ま ちづ くり | 都市建 設部 | 道路下 水道課 | 道路 グル ープ | | 継続 | | | 0 | | | | | | | |
| 66 | 暮らし 方の変 革・地 球シ テム への 適合 | 地球環 境問 題・公 害等 への 取り 組み | 地球温 暖化 対策 への 取り 組み | ④自 転車 のま ちづ くり | 34 | 自動車依存から自転車使用の促進を目指し、自転車のまちづくりに取り組みます。 | サイ クル シェ ア リ ン グ 事 業 | 生活環 境部 | 環境課 | 環境 係 | | 継続 | | | 5,736,000 | 衛生費 | 保健衛 生費 | 環境保 全費 | 環境政 策事 務 | | | |
| 67 | 暮らし 方の変 革・地 球シ テム への 適合 | 地球環 境問 題・公 害等 への 取り 組み | 地球温 暖化 対策 への 取り 組み | ④自 転車 のま ちづ くり | 34 | 自転車を安心して快適に利用できるまちづくりを目指し、放置自転車対策に取り組みます。都と連動した駅前放置自転車クリーンキャンペーンや商店街への協力要請、市内の放置自転車集中箇所における情報収集等を進めます。 | 駅 前 放 置 自 転 車 ク リ ン キ ャ ン ペ ー ン | 総務部 | 安全ま ちづ くり 課 | 地域 安全 係 | | 継続 | | | | | | | | | | |
| 68 | 暮らし 方の変 革・地 球シ テム への 適合 | 地球環 境問 題・公 害等 への 取り 組み | 地球温 暖化 対策 への 取り 組み | ④自 転車 のま ちづ くり | 34 | 自転車を安心して快適に利用できるまちづくりを目指し、放置自転車対策に取り組みます。都と連動した駅前放置自転車クリーンキャンペーンや商店街への協力要請、市内の放置自転車集中箇所における情報収集等を進めます。 | 放 置 自 転 車 等 対 策 関 係 委 託 | 総務部 | 安全ま ちづ くり 課 | 地域 安全 係 | | 継続 | | | 14,885,000 | 総務費 | 総務管 理費 | 地域安 全対 策費 | 放置自 転車 対 策事 務 | | | |

平成29年度環境基本計画実行計画

| No | 環境基本計画体系 | | | | 頁 | 5年間の施策の方向性 | 事業名 | 担当 | | | 協働事業 | 区分 | 年度計画（実施場所、方法、回数、関係先） | 翌年度計画 | 翌々年度計画 | 当該年度予算（円） | 会計区分 | | | | 管理指標 | | | |
|----|--------------------|------------------|---------------|------------|----|--|--------------|-------|------------|--------|------|----|----------------------|-----------|--------|-----------|---------|----------|---------|----|------|-----|-----|--|
| | | | | | | | | 部 | 課 | 係 | | | | | | | 款 | 項 | 目 | 事業 | 指標 | 基準値 | 目標値 | |
| 69 | 暮らし方の変革・地球システムへの適合 | 地球環境問題・公害等への取り組み | 地球温暖化対策への取り組み | ④自転車まちづくり | 34 | 自転車を安心して快適に利用できるまちづくりを目指し、放置自転車対策に取り組みます。都と連動した駅前放置自転車クリーンキャンペーンや商店街への協力要請、市内の放置自転車集中箇所における情報収集等を進めます。 | 自転車のまちづくり | 都市建設部 | 道路下水道課 | 管理グループ | | 継続 | 継続 | 0 | | | | | | | | | | |
| 70 | 暮らし方の変革・地球システムへの適合 | 地球環境問題・公害等への取り組み | 地球温暖化対策への取り組み | ④自転車まちづくり | 34 | 自転車の安全な利用と自転車のまちづくりについて利用者の視点から考えるきっかけづくりのため、主に児童生徒を対象に学習機会を提供します。 | 自転車の安全教室 | 総務部 | 安全安心まちづくり課 | 地域安全係 | | 継続 | 継続 | 258,000 | 総務費 | 総務管理費 | 地域安全対策費 | 交通安全対策事務 | | | | | | |
| 71 | 暮らし方の変革・地球システムへの適合 | 地球環境問題・公害等への取り組み | 地球温暖化対策への取り組み | ⑤公共交通の利用促進 | 34 | 鉄道・バスの利便性向上に向けた働きかけを継続し、公共交通の利用促進を目指します。 | 公共交通の利用促進 | 都市建設部 | まちづくり計画課 | 計画グループ | | 継続 | 継続 | 103,000 | 土木費 | 都市計画費 | 都市計画費 | 都市計画事務 | | | | | | |
| 72 | 暮らし方の変革・地球システムへの適合 | 地球環境問題・公害等への取り組み | 地球温暖化対策への取り組み | ⑥気候変動への適応 | 34 | 国の気候変動適応計画の策定動向を踏まえ、気候変動適応策の検討に向けた情報収集を行います。 | 気候変動への適応 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | | 継続 | 継続 | 0 | | | | | | | | | | |
| 73 | 暮らし方の変革・地球システムへの適合 | 地球環境問題・公害等への取り組み | 公害防止・有害化学物質対策 | ①公害防止対策の推進 | 35 | 各環境状況の観測・調査により実態を把握し、対策の基礎とするとともに、原因者への指導の徹底、市民・事業者への啓発を行います。また、横田基地における騒音被害を低減する要請を継続します。 | 各種苦情処理 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | | 継続 | 継続 | 0 | | | | | 環境基準達成率 | 別掲 | 別掲 | | | |
| 74 | 暮らし方の変革・地球システムへの適合 | 地球環境問題・公害等への取り組み | 公害防止・有害化学物質対策 | ①公害防止対策の推進 | 35 | 各環境状況の観測・調査により実態を把握し、対策の基礎とするとともに、原因者への指導の徹底、市民・事業者への啓発を行います。また、横田基地における騒音被害を低減する要請を継続します。 | 各種分析委託（公害） | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | | 継続 | 継続 | 2,744,000 | 衛生費 | 保健衛生費 | 環境保全費 | 公害対策事業 | | | | | | |
| 75 | 暮らし方の変革・地球システムへの適合 | 地球環境問題・公害等への取り組み | 公害防止・有害化学物質対策 | ①公害防止対策の推進 | 35 | 各環境状況の観測・調査により実態を把握し、対策の基礎とするとともに、原因者への指導の徹底、市民・事業者への啓発を行います。また、横田基地における騒音被害を低減する要請を継続します。 | 航空機騒音測定器保守委託 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | | 継続 | 継続 | 357,000 | 衛生費 | 保健衛生費 | 環境保全費 | 公害対策事業 | | | | | | |

| No | 環境基本計画体系 | | | | 頁 | 5年間の施策の方向性 | 事業名 | 担当 | | | 協働事業 | 区分 | 年度計画（実施場所、方法、回数、関係先） | 翌年度計画 | 翌々年度計画 | 当該年度予算（円） | 会計区分 | | | | 管理指標 | | |
|----|--------------------|------------------|---------------|--------------|----|---|------------------|-------|-------|---------|------|----|----------------------|-----------|--------|-----------|---------|----------|---|----|------|-----|-----|
| | | | | | | | | 部 | 課 | 係 | | | | | | | 款 | 項 | 目 | 事業 | 指標 | 基準値 | 目標値 |
| 76 | 暮らし方の変革・地球システムへの適合 | 地球環境問題・公害等への取り組み | 公害防止・有害化学物質対策 | ①公害防止対策の推進 | 35 | 各環境状況の観測・調査により実態を把握し、対策の基礎とするとともに、原因者への指導の徹底、市民・事業者への啓発を行います。また、横田基地における騒音被害を低減する要請を継続します。 | 自動車騒音調査等委託 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | | 継続 | 継続 | 2,241,000 | 衛生費 | 保健衛生費 | 環境保全費 | 公害対策事業 | | | | | |
| 77 | 暮らし方の変革・地球システムへの適合 | 地球環境問題・公害等への取り組み | 公害防止・有害化学物質対策 | ①公害防止対策の推進 | 35 | 各環境状況の観測・調査により実態を把握し、対策の基礎とするとともに、原因者への指導の徹底、市民・事業者への啓発を行います。また、横田基地における騒音被害を低減する要請を継続します。 | 横田基地航空機騒音対策の推進 | 企画財政部 | 企画調整課 | 基地・渉外担当 | | 継続 | 継続 | 196,000 | 総務費 | 総務管理費 | 企画調整費 | 渉外事務 | | | | | |
| 78 | 暮らし方の変革・地球システムへの適合 | 地球環境問題・公害等への取り組み | 公害防止・有害化学物質対策 | ②有害化学物質対策の推進 | 35 | 都環境確保条例に基づき事業所報告を指導するとともに、健康への悪影響、生態系のかく乱につながる有害化学物質の情報収集を行い、中小事業者や一般家庭向けに分かりやすい注意喚起を行い、市全体で有害物質の拡散防止に取り組みます。 | 東京都市環境・公害事務連絡協議会 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | | 継続 | 継続 | 3,000 | 衛生費 | 保健衛生費 | 環境保全費 | 公害対策事業 | | | | | |
| 79 | 暮らし方の変革・地球システムへの適合 | 地球環境問題・公害等への取り組み | 公害防止・有害化学物質対策 | ②有害化学物質対策の推進 | 35 | 都環境確保条例に基づき事業所報告を指導するとともに、健康への悪影響、生態系のかく乱につながる有害化学物質の情報収集を行い、中小事業者や一般家庭向けに分かりやすい注意喚起を行い、市全体で有害物質の拡散防止に取り組みます。 | 有害化学物質対策の推進 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | | 継続 | 継続 | 0 | | | | | | | | | |
| 80 | 環境教育・学習の推進 | ①学校における環境教育の推進 | | | 36 | 学校での環境教育を充実するため、環境教育を支援する体制の整備を継続します。 | 環境学習教員研修 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | | 継続 | 継続 | 51,000 | 衛生費 | 保健衛生費 | 環境保全費 | 環境教育事業 | | | | | |
| 81 | 環境教育・学習の推進 | ①学校における環境教育の推進 | | | 36 | 学習指導要領に基づく環境教育とあわせて、地域の特色を生かした学校独自の環境学習の取り組みを支援します | 理科支援員の配置 | 教育部 | 教育指導課 | 指導係 | | 継続 | 継続 | 2,253,000 | 教育費 | 教育総務費 | 教育指導管理費 | 理数教育推進事業 | | | | | |
| 82 | 環境教育・学習の推進 | ①学校における環境教育の推進 | | | 36 | 学習指導要領に基づく環境教育とあわせて、地域の特色を生かした学校独自の環境学習の取り組みを支援します | 学校における環境教育の推進 | 教育部 | 教育指導課 | 指導係 | | 継続 | 継続 | 0 | | | | | | | | | |
| 83 | 環境教育・学習の推進 | ①学校における環境教育の推進 | | | 36 | 学習指導要領に基づく環境教育とあわせて、地域の特色を生かした学校独自の環境学習の取り組みを支援します | 学習指導市民講師による指導 | 教育部 | 教育指導課 | 指導係 | | 継続 | 継続 | 300,000 | 教育費 | 教育総務費 | 教育指導管理費 | 教育指導事務 | | | | | |

| No | 環境基本計画体系 | | | 頁 | 5年間の施策の方向性 | 事業名 | 担当 | | | 協働事業 | 区分 | 年度計画（実施場所、方法、回数、関係先） | 翌年度計画 | 翌々年度計画 | 当該年度予算（円） | 会計区分 | | | | 管理指標 | | |
|----|------------|----------------|--|----|---|---------------------|-------|---------|------|------|----|--|-------|--------|------------------------|------|-------|---------|-----------|------|-----|-----|
| | | | | | | | 部 | 課 | 係 | | | | | | | 款 | 項 | 目 | 事業 | 指標 | 基準値 | 目標値 |
| 84 | 環境教育・学習の推進 | ②地域における環境学習の推進 | | 36 | 福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。 | ふっさ環境フェスティバル | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | ★ | 継続 | 環境問題に対する市民の認識を深め、意識の醸成を図ることを目的に、環境月間である6月に「第15回ふっさ環境フェスティバル」を開催する。市民や事業者により組織されたふっさ環境フェスティバル実行委員会により企画・運営を行う。（一部については福生スクラム・マイナス50%協議会事業として行う） | 継続 | 継続 | 1,500,000 [774,200] | 衛生費 | 保健衛生費 | 環境保全費 | 環境教育事業 | | | |
| 85 | 環境教育・学習の推進 | ②地域における環境学習の推進 | | 36 | 福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。 | 福生市の環境 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | | 継続 | 環境に関する各種モニタリング情報を収集し、計画の進捗状況を公表するため、「福生市の環境」を発行し、ホームページへ掲載する。 | 継続 | 継続 | 74,250 | 衛生費 | 保険衛生費 | 環境保全費 | 環境政策事業 | | | |
| 86 | 環境教育・学習の推進 | ②地域における環境学習の推進 | | 36 | 福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。 | 「かんきょう通信」 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | ★ | 継続 | 環境に関する情報等を発信するため、市民編集員と協働し「かんきょう通信」を発行する。かんきょう通信の発行（年2回） | 継続 | 継続 | 482,792 | 衛生費 | 保健衛生費 | 環境保全費 | 環境政策事務 | | | |
| 87 | 環境教育・学習の推進 | ②地域における環境学習の推進 | | 36 | 福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。 | 環境学習講座 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | ★ | 継続 | 近年のごみ問題をテーマに、市民講師による環境学習講座を行う。（福生スクラム・マイナス50%協議会事業） | 継続 | 継続 | [10,200] | | | | | | | |
| 88 | 環境教育・学習の推進 | ②地域における環境学習の推進 | | 36 | 福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。 | 市民環境大学「ふっさECOカフェ」 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | | 継続 | 昨年度に引き続き、畑での農作業体験の他、市内の豊かな水と緑を訪ねて歩き、市内に残された貴重な農地や雑木林で、緑地を守る活動を行う。フィールドワークを中心に全6回開催。 | 継続 | 継続 | 702,000 | 衛生費 | 保健衛生費 | 環境保全費 | 環境教育事業 | | | |
| 89 | 環境教育・学習の推進 | ②地域における環境学習の推進 | | 36 | 福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。 | 環境学習推進事業 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | ★ | 継続 | 地球温暖化防止月間セミナーを市民団体と協働で開催する。（福生スクラム・マイナス50%協議会事業） | 継続 | 継続 | [17,200] | | | | | | | |
| 90 | 環境教育・学習の推進 | ②地域における環境学習の推進 | | 36 | 福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。 | 環境学習推進事業 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | ★ | 新規 | 「自然と調和した住みたくなるまち」を視点にした、環境マップづくりを市民団体と協働で行う。（福生スクラム・マイナス50%協議会事業） | 継続 | 継続 | [28,400] | | | | | | | |
| 91 | 環境教育・学習の推進 | ②地域における環境学習の推進 | | 36 | 子どもや親子を対象に、市内外のフィールドにおける学習機会を提供します。 | 夏休み子ども見学会 | 教育部 | 生涯学習推進課 | 文化財係 | | 継続 | 夏休み子ども見学会の実施（葛西臨海水族園等年1回） | 継続 | 継続 | 11,300 | 教育費 | 社会教育費 | 生涯学習推進費 | 保護展示事業 | | | |
| 92 | 環境教育・学習の推進 | ②地域における環境学習の推進 | | 36 | 子どもや親子を対象に、市内外のフィールドにおける学習機会を提供します。 | 地域・市民の環境学習の推進 | 教育部 | 公民館 | 白梅分館 | ★ | 継続 | 熊川分水たんけん隊 1コース1回 | 継続 | 継続 | 42,000 | 教育費 | 社会教育費 | 公民館費 | 白梅会館運営事業 | | | |
| 93 | 環境教育・学習の推進 | ②地域における環境学習の推進 | | 36 | 子どもや親子を対象に、市内外のフィールドにおける学習機会を提供します。 | 青少年を対象とした体験・学習機会の拡充 | 教育部 | 公民館 | 公民館 | ★ | 継続 | ジュニア自然体験教室 11回 ①キャンププログラムの企画を参加者が主体的に行う。②キャンプ後も定期的に活動し関係を深めながら年間を通じた学習活動を行う | 継続 | 継続 | 479,000 | 教育費 | 社会教育費 | 公民館費 | 公民館本館運営事業 | | | |
| 94 | 環境教育・学習の推進 | ②地域における環境学習の推進 | | 37 | 子どもや親子を対象に、市内外のフィールドにおける学習機会を提供します。 | わくわく土曜日「自然観察会」 | 教育部 | 生涯学習推進課 | 文化財係 | | 継続 | 自然観察会の開催（年2回） | 継続 | 継続 | 40,000 | 教育費 | 社会教育費 | 生涯学習推進費 | 保護展示事業 | | | |

平成29年度環境基本計画実行計画

| No | 環境基本計画体系 | | | | 頁 | 5年間の施策の方向性 | 事業名 | 担当 | | | 協働事業 | 区分 | 年度計画（実施場所、方法、回数、関係先） | 翌年度計画 | 翌々年度計画 | 当該年度予算（円） | 会計区分 | | | | 管理指標 | | |
|----|------------|----------------|--|--|----|--|---------------|-------|-----|------|------|----|--|-------|--------|-----------|------|-------|------|----------|------|-----|-----|
| | | | | | | | | 部 | 課 | 係 | | | | | | | 款 | 項 | 目 | 事業 | 指標 | 基準値 | 目標値 |
| 95 | 環境教育・学習の推進 | ②地域における環境学習の推進 | | | 37 | 大人の学習意欲を引き出し、楽しみながら学び行動できるきっかけとなるような講座や企画、展示を展開します。 | 地域・市民の環境学習の推進 | 教育部 | 公民館 | 松林分館 | ★ | 継続 | だれでもなんでも展での体験コーナー、ワークショップ、伝統文化講座等の開催にあたり、草木、再生紙、古布等を利用した作品作りを実施する予定。講座を通し、限りある資源や物を大切にすることを養う。 | 継続 | 継続 | 45,000 | 教育費 | 社会教育費 | 公民館費 | 松林会館運営事業 | | | |
| 96 | 環境教育・学習の推進 | ②地域における環境学習の推進 | | | 37 | 大人の学習意欲を引き出し、楽しみながら学び行動できるきっかけとなるような講座や企画、展示を展開します。 | 地域・市民の環境学習の推進 | 教育部 | 公民館 | 白梅分館 | ★ | 継続 | 熊川分水に親しむ講座 1コース4回 | 継続 | 継続 | 60,000 | 教育費 | 社会教育費 | 公民館費 | 白梅会館運営事業 | | | |
| 97 | 環境教育・学習の推進 | ③環境学習を支える人材の確保 | | | 37 | 環境学習講座等の中で環境保全活動の実践や講師となりうる人材を育成するとともに、すでに活躍している人材のネットワークを整理する、環境学習を支える人材の継続的な確保を図ります。 | 環境学習を支える人材の確保 | 生活環境部 | 環境課 | 環境係 | ★ | 継続 | 協働事業等を通し環境に関する人材の発掘をする。環境に関する市民団体と連携し、情報共有と共に人材の継続的な確保を図る。 | 継続 | 継続 | 0 | | | | | | | |

| 管理指標 | | 現況 (H26) | 目標値 (H32) 100% | 担当課 |
|---------|----|----------|----------------|-----|
| 環境基準達成率 | 大気 | 燃料中硫黄分 | 100.00% | 環境課 |
| | | 二酸化窒素 | 100.00% | |
| | 水 | 地下水 | 96.70% | |
| | | 工場排水 | 95.50% | |
| | 騒音 | 航空機騒音 | 50.00% | |
| | | 主要な道路騒音 | 82.60% | |